

神聖な種族の領域としての神の王国の中で生きることによって、
神・人の生活をする

聖書：マルコ 1:15. ヨハネ 3:3, 5-6, 1:12-13. IIペテロ 1:4. Iヨハネ 3:1

- I. わたしたちは神から生まれているので神の種族です。すなわち、わたしたちは神格においてではなく命と性質において神です——ヨハネ 3:3, 5-8。
- II. 神・人たちは、神の種族にあずかるための神聖な権利を持っています——ヨハネ 3:3, 5-6, 18:36。
- III. キリストにある信者として、わたしたちは神・人の生活をしています——マルコ 1:15. ヨハネ 14:17 後半, 20. ローマ 8:9 前半, 10. ガラテヤ 5:25 :
 - A. キリストの中で、神は人の中へと構成され、人は神の中へと構成され、神と人は共にミングリングされて一つの実体となっています。それは神・人と呼ばれます——マタイ 1:21, 23. ルカ 1:35. テトス 2:13. Iテモテ 2:5。
 - B. 神・人たちは、神の子たちは、第一の神・人であるキリストの複製また継続です——ヨハネ 12:24. ヘブル 2:10. ローマ 8:29。
 - C. 神・人は、神から生まれて神の命と性質にあずかっており、命と性質において神と一になり、こうして神を表現する人です——ヨハネ 1:12-13, 3:15. IIペテロ 1:4. Iコリント 6:17。
 - D. 神・人は神で構成され、神を彼の命、性質、すべてとして持っています。神・人は人であるが神であり、神であるが人です——エペソ 3:16-17 前半。
 - E. キリストの人の生活は、人が神を生きて、神聖な属性で満たされ、ミングリングされ、浸透された人性の美徳において、神の属性を表現することでした——ルカ 1:26-35, 7:11-17, 10:25-37, 19:1-10。
 - F. わたしたちは、第一の神・人の増殖また複製として、彼が生きたと同じ種類の生活をすべきです：
 1. 主の神・人の生活は、わたしたちの神・人の生活の模範を設立しました。この模範は、十字架につけられて神を生き、それによって神が人性において表現されることです——ガラテヤ 2:20。
 2. 主イエスは、霊的で、聖い、勝利の生活を生かし出そうとしたのではありません。彼が生かし出した生活は、完全に神の新約エコノミーにしたがっており、神の新約エコノミーのためでした。
 3. 四福音書において、イエスが神・人の生活を生かし出しているのを見ます。使徒行伝において、弟子たちもそのような生活を生かし出しているのを見ます。
 4. キリストは苦難の生活、すなわち苦難を受けた生活をしました。今や、わたしたちはキリストのパートナーであり、同じ種類の生活をしています。わたし

たちがキリストのために苦難を受けるとき、わたしたちの苦難はキリストの苦難として神によって数えられます——ヘブル 3:14。

5. わたしたちはキリストの霊の満ちあふれる供給によって、自己を否み、キリストの死に同形化され、彼を大きく表現しなければなりません——マタイ 16:24. ピリピ 3:10. 1:19-21 前半。
6. 神・人の生活をした方は、今やその霊であり、わたしたちの中で、わたしたちを通して生きています。わたしたちは自己啓発と自分の天然の人を建て上げることを拒絶し、この方以外の何にも、わたしたちを満たし占有させてはなりません。それは、わたしたちが個人的にも彼のからだである召会の中で団体的にも、彼を生き、彼を表現するためです——エペソ 3:16-19. 1:22-23。

IV. キリストにある信者として、わたしたちは神の王国の中で生きています——ローマ 14:17 :

- A. 神の王国は、神ご自身です——マルコ 1:15. マタイ 6:33。
- B. 神の王国は、キリストにある神が、神聖な命とそのすべての活動との総合計であることです——ヨハネ 11:25. 10:10 後半. 14:6。
- C. 神の王国は、神聖な命の領域であり、この命が行動し、働き、支配し、統治して、命にその目的を完成させます。
- D. 神の王国は、神の命で構成された有機体であり、神が支配する命の領域です。その中で神は彼の命によって王として支配し、神聖な命の中で神聖な三一としてのご自身を表現します——15:1-8, 16, 26。
- E. 神の王国は、一つの領域であり、神聖な統治の領域であるだけでなく、神聖な種族の領域でもあって、その中にすべての神聖なものがあります——3:3, 5-6.

18:36 :

1. ヨハネ第3章で、神の王国は神の統治よりも神の種族を指しています。
2. 神は人と成って、人の種族の中へと入りました。人は神格においてではなく命と性質において神となって、神聖な種族の領域の中へと入ります——1:1, 12-14. ローマ 8:3. 1:3-4。
3. 神聖な種族の領域の中へと入るために、わたしたちは神から生まれて、神聖な命と神聖な性質を持つ必要があります——ヨハネ 1:12-13. 3:3, 5-6, 15.

II ペテロ 1:4 :

- a. 神が人を創造したのは、人の種類にしたがってではなく、神のかたちに、また神の姿にしたがってであり、人を神の種類、神の種族とさせました——創 1:26。
- b. 信者たちは再生によって神から生まれ、神格においてではなく命と性質において神の子供たちとなっています。彼らはアダムよりもさらに神の種類です——ヨハネ 1:12-13 :

- (1) アダムは、神聖な命の外側の現れを持っているだけであって、神聖な命の内側の実際を持っていませんでした。
- (2) わたしたち、キリストにある信者また神の子供たちは、神聖な命の実際を持っています。そしてわたしたちは全存在が造り変えられて、主のかたちに同形化されつつあります——Ⅱコリント 3:18. ローマ 12:2. 8:29。
- (3) わたしたちの第二の誕生、すなわち再生は、わたしたちを神の王国の中へと入らせ、神の種族とならせました——ヨハネ 3:3, 5-6。
- (4) わたしたちは再生されて神類となっています。神の子たちとして、わたしたちは神の種類、神の種族です——ローマ 8:19. ヘブル 2:10。
- (5) 神のすべての子供たちは、神聖な種族の神聖な領域の中にいます——ヨハネ 1:12-13. 3:3, 5。
- (6) 信者たちは神聖な種族の中で、すなわち、神の王国の中で神・人です——Ⅰヨハネ 3:1 前半. ヨハネ 3:5。

F. わたしたちは命の感覚によって、神聖な命の領域としての神の王国の中で生きます——ローマ 8:6。

G. 召会の中で、今日わたしたちは神の王国の中で生活しています。ローマ第 14 章 17 節は、今日の召会生活が王国であることの強力な証拠です。

H. わたしたちは、わたしたちの新創造（神の王国の要素としてのキリストご自身）となっているその部分を活用するとき、神の王国の中に生きているのです。

I. 勝利者は、キリストと神との王国を受け継いで、天の王国の実現の中へと入ることができます——Ⅱテモテ 4:18。

V. **ヨハネによる福音書の中でわたしたちは、神聖な種族の領域の中の信者たちの生活の多くの面を見ます——ヨハネ 1:16. 15:4 前半, 9, 11. 4:23-24. 14:2, 20, 23. 17:22-24 :**

A. 「わたしたちはみな、彼の豊満から、恵みの上にさらに恵みを受けた」——1:16。

B. 「わたしが与える水は、その人の内で源泉となり、湧き上がって、永遠の命へと至るのである」——4:14 後半。

C. 「わたしを食べる者も、わたしのゆえに生きる」——6:57 後半。

D. 「だれでもわたしに仕えるなら、その人はわたしについて来なさい。そうすれば、わたしのいる所に、わたしに仕える者もいるのである。だれでもわたしに仕えるなら、父はその人を尊ばれる」——12:26。

E. 「わたしの父の家には多くの住まいがある。……わたしは……あなたがたのために、場所を用意しに行くのである」——14:2。

F. 「その日には、わたしがわたしの父の中におり、あなたがたがわたしの中におり、わたしがあなたがたの中にいることを、あなたがたは知るであろう」——20 節。

- G. 「だれでもわたしを愛する者は、わたしの言を守る。そしてわたしの父は彼を愛され、わたしたちは彼の所へ行って、彼と共に住まいを造る」——23 節。
- H. 「わたしの中に住んでいなさい。そうすれば、わたしもあなたがたの中に住む」——15:4 前半。
- I. 「あなたがたがわたしの中に住んでおり、わたしの言葉があなたがたの中に住んでいるなら、何でも望むものを求めなさい。そうすれば、それはあなたがたにかなえられる」——7 節。
- J. 「父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛した。わたしの愛の中に住んでいなさい」——9 節。
- K. 「これらの事をあなたがたに語ったのは、わたしの喜びがあなたがたの中にあり、あなたがたの喜びが満ちあふれるためである」——11 節。
- L. 「わたしがこれらの事をあなたがたに語ってきたのは、あなたがたがわたしの中で、平安を持つためである」。「わたしの平安をあなたがたに与える」——16:33 前半、14:27 後半。
- M. 「聖なる父よ、あなたがわたしに与えてくださったあなたの御名の中で、彼らを守ってください。それは、わたしたちのように、彼らが一となるためです」——17:11 後半。
- N. 「あなたがわたしに与えてくださった栄光を、わたしは彼らに与えました。それは、わたしたちが一であるように、彼らも一となるためです」——22 節。
- O. 「わたしが彼らの中におり、あなたがわたしの中におられるのは、彼らが成就されて一となるためです」——23 節前半。
- P. 「父よ、わたしがお願いするのは、あなたがわたしに与えてくださった者たちも、わたしがいる所に共におり、あなたがわたしに与えてくださったわたしの栄光を、彼らが見ることです」——24 節前半。